

# IR 事業説明会 エネルギーインフラ事業

2017年6月7日

エネルギーインフラ統括部門長

牧 謙

## 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

## 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

古河電気工業株式会社

1. **事業内容と主要製品・用途紹介**
2. **中期戦略概要**
3. **2016年度の状況**
4. **2017年度の見込み**
5. **事業環境と方向性（電力事業）**
6. **事業の選択と集中（産業電線事業）**

## エネルギーインフラ統括部門

電力事業部門

⇒ 超高圧地中送電線及び海底線

産業電線・機器  
事業部門

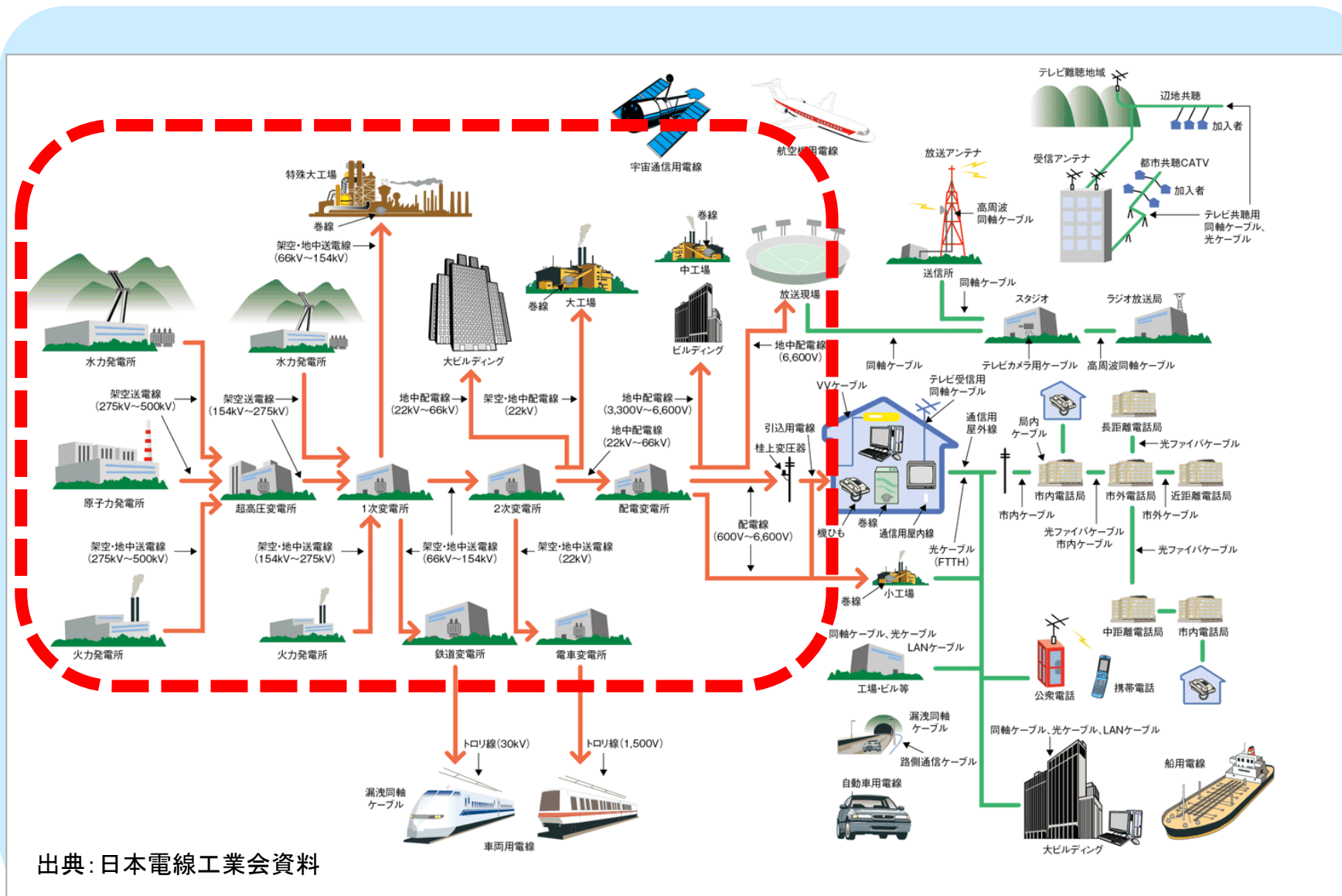
⇒ 産業用電線及び電線付属品

## エネルギーインフラ統括部門

事業	顧客	主要用途
<b>電力</b> 66kV以上地中・海底 送電線、部品および工事	電力会社、IPP、 大プラント等	<ul style="list-style-type: none"><li>・発電所～変電所～大プラント間等の 地中送電線路</li><li>・洋上風力発電所や島嶼間連系※</li></ul>
<b>産業電線・機器</b> 33kV以下電線ケーブル	一般工場・ビル所有者、 鉄道会社等	<ul style="list-style-type: none"><li>・一般建築物、設備の屋内配線</li><li>・工場設備・機器の制御回路</li><li>・鉄道用（電車への電力供給）</li></ul>
33kV以下配電部品 架空送電部品	一般工場・ビル所有者、 鉄道会社、電力会社等	<ul style="list-style-type: none"><li>・配電盤、制御盤等の配線</li><li>・送配電線路向け電設資材</li></ul>

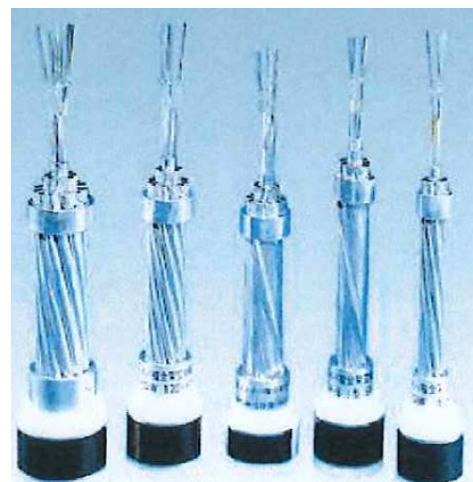
※離島への電力供給、あるいは離島の発電所からの電力供給等のための電力系統連系。

# 1. 事業内容と主要製品・用途紹介





各種 電力ケーブル



光ファイバー複合架空地線（OPGW）



海底ケーブル



海底送水管



超高压ケーブル 施工例（洞道内）





海底ケーブルの積込



海底ケーブルの布設



海底送水管の布設



海底送水管の布設

電気設備工事の省力化に貢献する低圧電力ケーブル

## ハイブリッドケーブルシリーズ

かるい

銅導体CVと比べて30~50%軽量化を実現

やわらかい

銅導体CVと比べて柔軟性が1.5倍に向上

安定

銅地金相場と連動しない価格 = ほぼ固定価格

安全

運搬時の事故や腰痛等の労務災害防止に貢献

安心

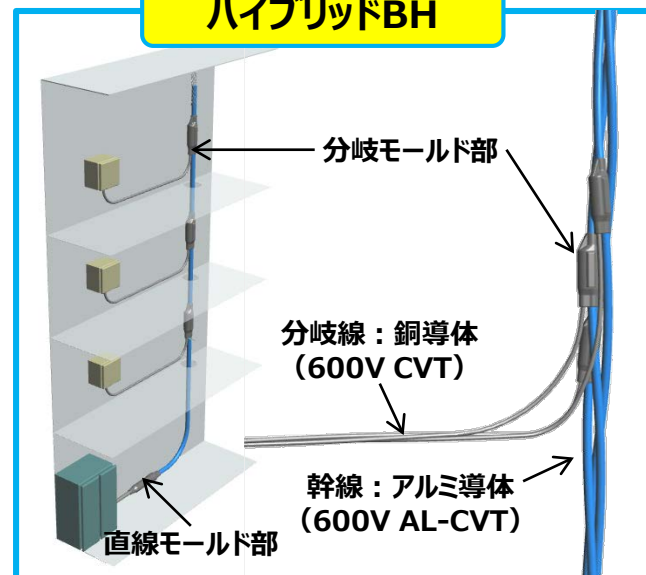
銅を使用していないため盗難リスクの低減が可能

識別が容易

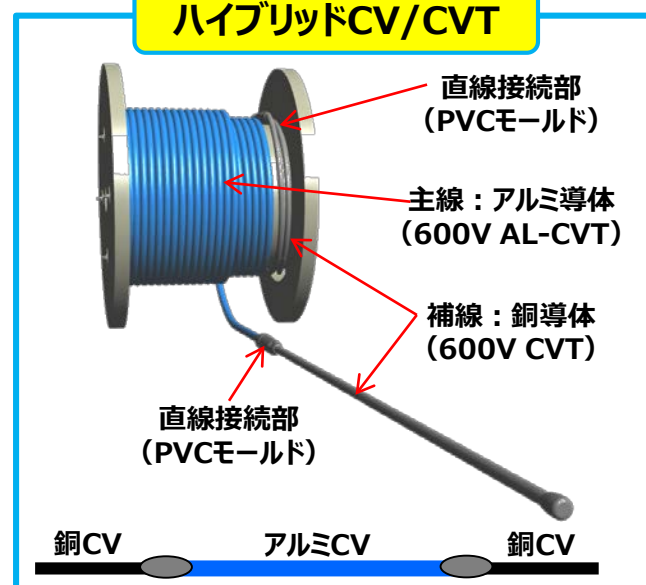
表面を青色とすることで従来品との識別が容易

- ハイブリッドケーブルシリーズは、新規開発したアルミ導体CVケーブルの端末に、従来の銅導体CVケーブルを予め工場て接続or分岐加工し、防水処理を施しお客様の現場にお届けする製品です。
- 軽量のアルミ導体CVケーブルの採用により、延線工事の省力化に貢献する一方、端末部は銅導体CVケーブルなので、機器との接続処理は従来通りの接続材料や工具で施工可能な製品です。
- 延線工事の省力化だけでなく、柔軟性向上や購買業務の効率化や労務災害防止等、お客様に多くのメリットをもたらす製品です。

### ハイブリッドBH



### ハイブリッドCV/CVT



# 古河電工

経営資源の融合で  
エネルギーインフラ事業の発展を実現

顧客提案力強化

発電事業者の多様化への対応

エンジニアリング力強化

国内工事、海外工事の一体運営

国内工事

FEES

FEEI

大河工程

製造力強化

技術力・資材調達力・ものづくり力

市原ケーブル工場

瀋陽古河

古河電工産業電線

平塚機器工場

古河電工パワーシステムズ

### 顧客提案力強化

- 電力自由化の進展にともなう発電事業者の多様化に対し、営業部門・技術部門の一体運営によるお客さまのニーズにあった物品・サービスを提供

### エンジニアリング力強化

- 国内工事、海外工事の一体運営による陸上・海洋工事の対応能力の一層の充実

### 製造力強化

- 古河電工の資材調達力、ものづくり力を総合的に発揮
- 人材交流、製造分担による瀋陽古河とのシナジー強化

# 3.2016年度の状況（総括）

（単位：億円）

2016年度  
振り返り

## 決算説明（ビスキュス再編後、下期のみ反映）

- ： 産業電線分野での選択と集中を促進、損益面でも貢献。
- ： 電力事業については、ビスキュス再編により、下期以降の実績を反映。
- ： 国内送水管、国内超高圧大型件名、OPGW輸出が寄与。
- ： 中国子会社(瀋陽) の低迷により連結営業利益は+1億円にとどまる。

- ： インフラ事業の中核としての体制構築に着手
- ： 瀋陽古河/海外工事拠点/古河Grとしての営業体制とのシナジーを活用した顧客提案力/エンジニアリング力/製造力の強化を目指す

	2015年度	2016年度
	実績	実績
売上高	935	953
営業利益	△3	1
営業利益率	△0.3%	0.2%

## 顧客提案力強化

- シンガポール、カタール400kV案件の受注

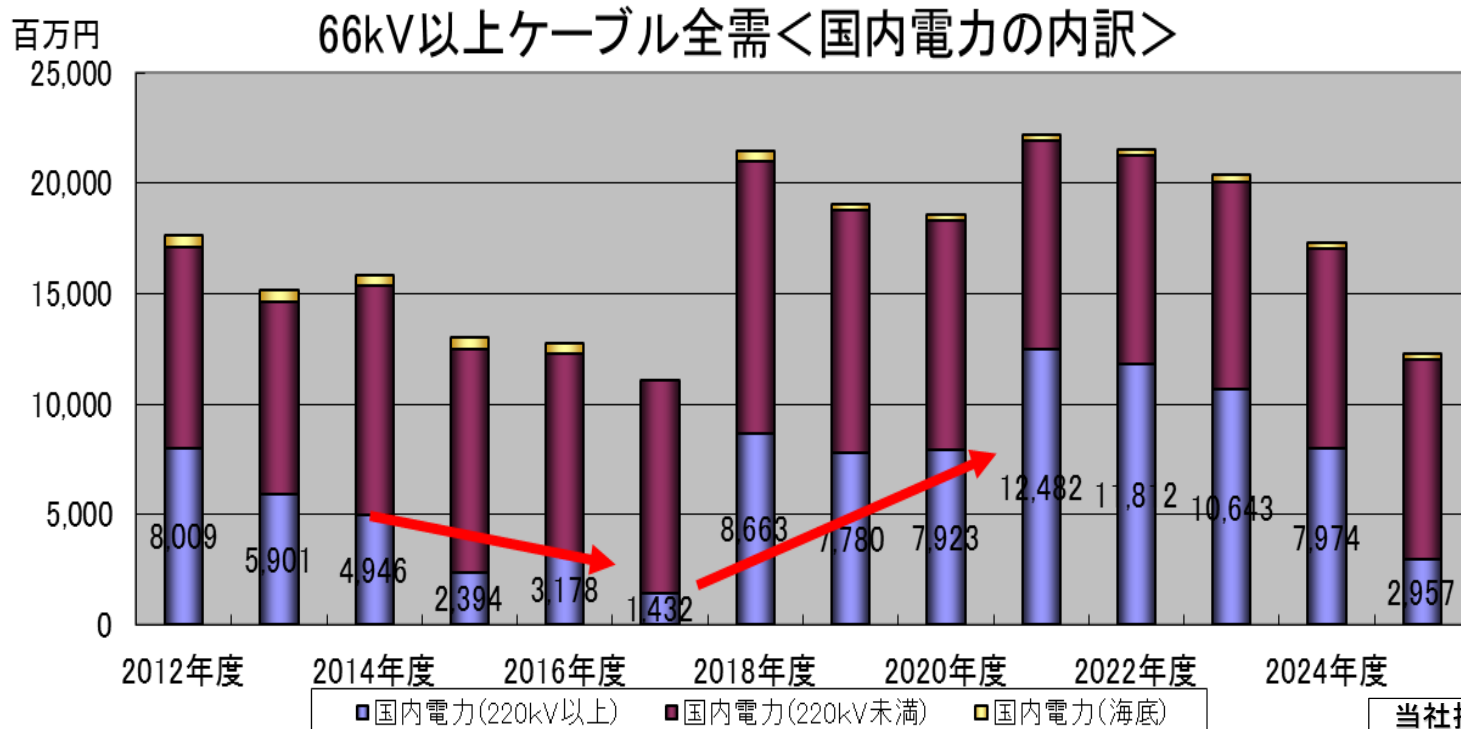
## エンジニアリング力強化

- 国内電力会社経年設備火災復旧への迅速な対応
- 工事人材（スタッフ、施工者）の補強

## 製造力強化

- 製造設備の増強・大型更新検討開始

# 3.2016年度の状況（変化点）



## 2018年より需要回復

- ・電力会社の設備更新投資増
- ・関係強化・新エネ対応  
新エネと基幹系統の連携(新エネ側、国内電力会社側)

\* 2016年度時点からの変化点

**・経年OFケーブル更新計画前倒し、長期更新計画が明確に(~2040)**

# 4.2017年度の見込み（総括）

（単位：億円）

## 2017年度 見込みと総括

### 決算（旧ビスマス電力事業は通期取り込み）

- ： 電力事業は基礎固め、体制整備の年と位置づけ
- ： 国内経年設備更新需要は2018年度以降に期待  
→社会インフラ更新に貢献できる体制づくりを促進
- ： 将来投資による固定費負担が先行（製造/工事/開発）
- ： 産業電線分野は、選択と集中を継続

- ： 製造体制（設備更新、市原/瀋陽の生産配分）の検討
- ： 工事施工力の強化（体制増強）
- ： 直流/海底線など将来技術の開発

	2016年度	2017年度
	実績	見込み
売上高	953	1,100
営業利益	1	△13
営業利益率	0.2%	△1.2%

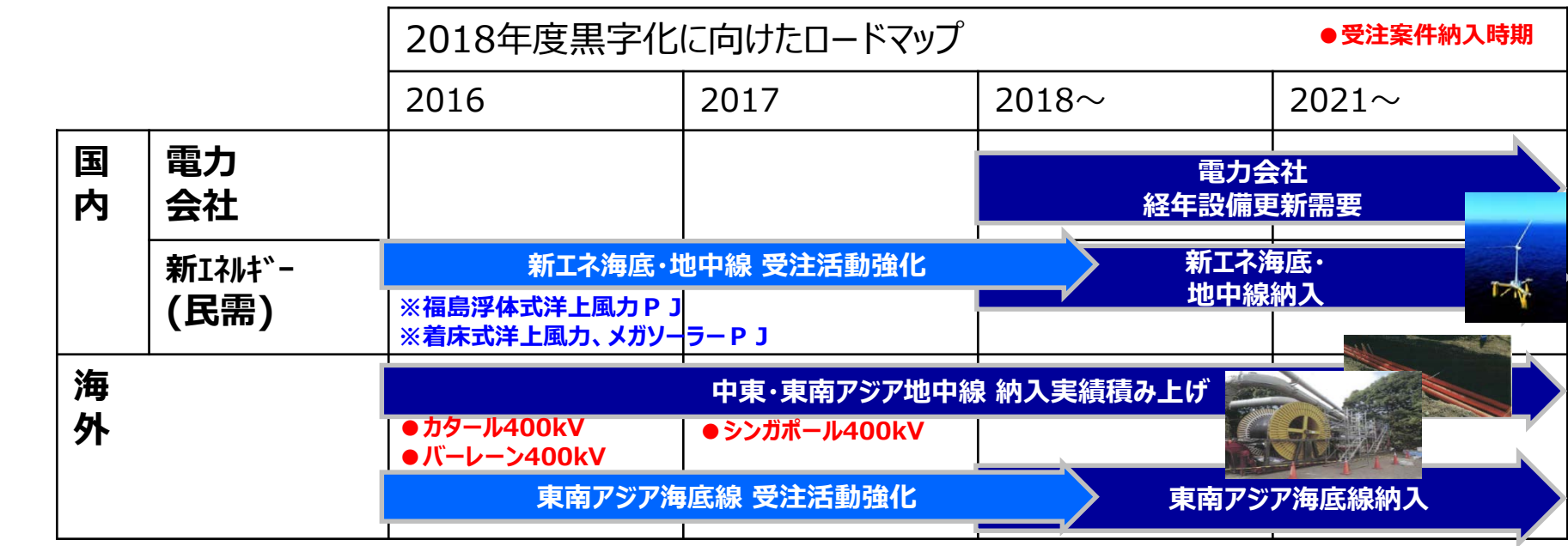


# 4.2017年度の見込み（施策）

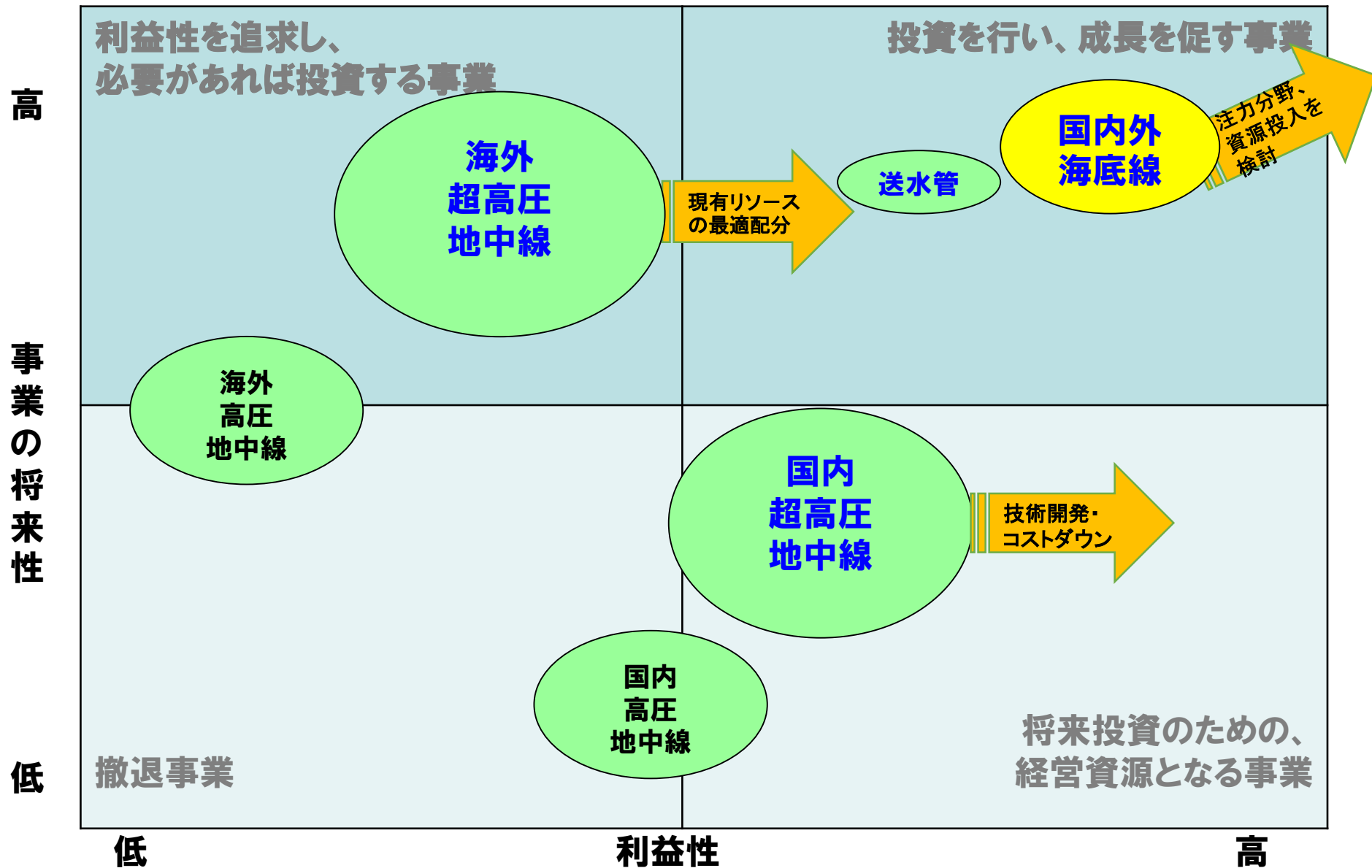
## － ものづくり強化と工事能力の向上による体制の構築

2017年度は、事業再編による新体制をふまえ、以下の対応を実施

- 国内電力会社向け更新需要に向けた体制強化
  - ・設備投資：ケーブル製造設備の更新・能力増強
  - ・人員増強：工事対応要員の確保
- 海外受注案件の確実な対応による収益確保
- 将来に向けた技術開発



# 5. 事業環境と方向性 (電力事業ポートフォリオ)



# 5.事業環境と方向性（電力事業総括）

経営資源の融合でエネルギーインフラ事業の発展を実現

ビスキャス再編⇒体制整備  
～2018

エネルギーインフラ事業発展  
～2021

顧客提案  
力の強化

総合力

国内電力設備更新需要  
国内新エネ案件  
海外超高压案件の受注

工事施工  
能力向上

人材

スタッフ、施工者の増強

ものづくり  
強化

工場

市原、瀋陽を保有する強み  
：製造拠点最適化  
：大規模設備更新も検討

技術開発

直流/海底線/長尺化/省人化

コスト  
ダウン

瀋陽の価格差戦略の促進  
市原の差別化戦略でも必須

強  
固  
な  
供  
給  
体  
制

営業・製造・施工の総合力  
：国内外超高压案件受注  
：海外海底線案件受注  
：グローバルプレーヤー

国内/海外工事能力を  
保有する強みを生かし  
陸上・海洋対応能力充実

市原：差別化戦略  
(超高压/直流/海底線に注力)  
瀋陽：価格差戦略  
(古河電工ブランド/実績/工事能力)  
\* 海外競合社との優位性確立

労働人口減少に対応  
競争力の向上

# 5. 事業環境と方向性(電力事業注力分野)

対象・地域		製造拠点	注力分野	姿勢	競合社	顧客への アピールポイント
日本	国内電力会社	市原	超高压分野	守る、伸ばす	国内電線メカ-	サービス(工事) 価格
	新電力(民需)		洋上、海底線	攻める	国内電線メカ-	価格 サービス
	送水管		送水管	守る、伸ばす	電線メカ-以外	価格
	Out-In	瀋陽	高压分野	攻める	国内電線メカ-	古河電工ブランドと価格
アジア	電力会社等、 公的インフラ投資	市原	超高压分野、海底線	守る、伸ばす	日、韓、欧電線メカ-	過去実績とブランド
		瀋陽	高压分野	攻める	韓、中電線メカ-	古河電工ブランドと価格
中東	電力会社等、 公的インフラ投資	市原	超高压分野、海底線	守る、伸ばす	日、韓、欧電線メカ-	過去実績とブランド
		瀋陽	高压分野	攻める	韓、中電線メカ-	古河電工ブランドと価格
中国	-	市原	-	-	-	-
	国営電力会社	瀋陽	超高压、高压分野	守る、伸ばす(超高压)	中国電線メカ-	超高压を含む国産化

# 5. 事業環境と方向性 (製造拠点最適化)

【地中線】 超高圧 (230kV以上)	【地中線】 高圧 (66~230 kV以下)	【海底線】
市原	市原	市原
市原	市原/瀋陽	市原
市原	市原	市原
瀋陽	瀋陽	市原
市原	市原	市原

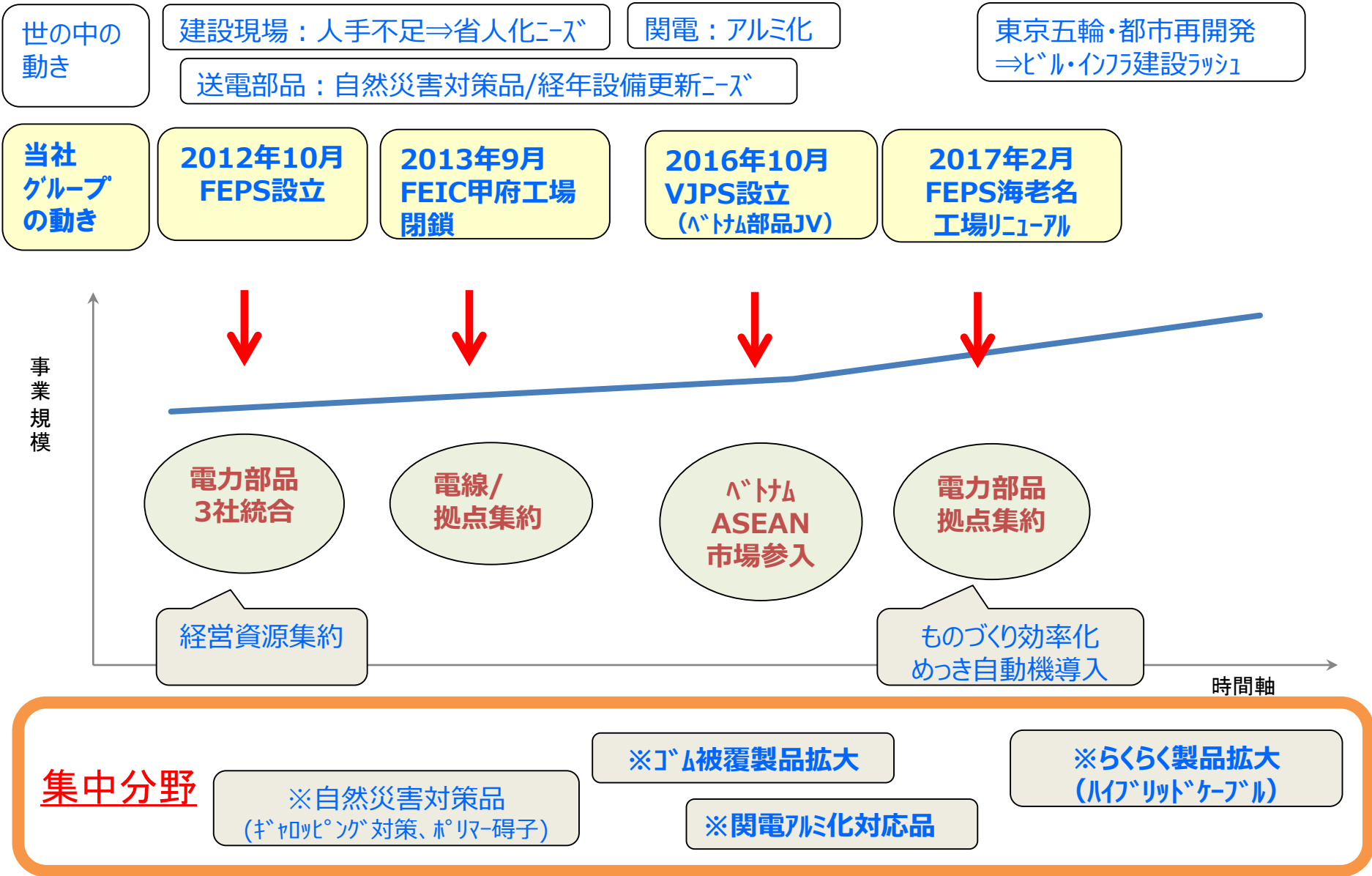
	【地中線】 超高圧 (230kV以上)	【地中線】 高圧 (66~230 kV以下)	【海底線】
日本	市原	瀋陽/市原	市原
アジア	瀋陽/市原	瀋陽/市原	市原
中東	瀋陽/市原	瀋陽	市原
中国	瀋陽	瀋陽	市原
その他	瀋陽/市原	瀋陽	市原

現状：2 拠点（市原 & 瀋陽） = 製品差別化 / 個別最適

⇒市原 = 製品差別化を推進

⇒瀋陽 = 価格差戦略を推進 (古河電工ブランド、実績、工事施工)

# 6.事業の選択と集中（産業電線事業）



ご清聴ありがとうございました。

*Bound to*  *Innovate*